



1. 閉校登山として一位ヶ岳へ 2. シャクナゲ園の花殻摘みボランティアに参加 3. 農園活動で玉ねぎを収穫 4. 子ども歌舞伎「五人三番叟」 5. 収穫感謝祭で小学生や地域の人もちつき 6. 閉校事業の一環で人文字づくりを行った俵山地区合同体育祭

インタビュー「ありがとう、俵山中学校」



「これからも一緒に」
育友会長
花岡祐二さん

はじめは実感がありませんでしたが、「思い出に残る1年に」と取組を進める中で、本当に統合するんだという気持ちがわいてきました。俵山中と言えば子ども歌舞伎、観客を魅了する華やかな舞は素晴らしい伝統だと思います。在校生は、統合を視野を広げるチャンスと考え、個性を伸ばして行ってください。今後も地域行事を通して一緒に俵山を盛り上げていきましょう。



「誇りに思う」
生徒代表
井上恵太さん

1人1人の仲が良く、俵山ならではの体験ができる僕らの中学校。閉校すると聞いたときは、驚きと寂しさで胸がいっぱいになりました。一番の思い出は、小学生のころから取り組んできた歌舞伎。今年度、東京の舞台でも披露できたことは誇りに思います。後輩の皆さんはこれから深川中学校での生活が始まりますが、俵山での経験を生かして挑戦を続けて行ってください。



「つながりを大切に」
俵山中学校
志賀慎次校長

俵山地区は地域をあげて子どもたちを見守り、支えていく素晴らしい地域です。この場所で育った生徒もまた、世代を超えて手を取り合い、地域行事に参加してきました。閉校は残念ですが、大きな学校にはそれだけで刺激を受けられる良さもあります。統合後もつながりを大切に、地域で身に付けたことを生かして自分を磨き、新たな目標に向けてがんばってください。

ありがとう、私たちの学び舎
俵山中学校

平成27年度末をもって、俵山中学校が深川中学校に統合され、69年の歴史に幕を閉じました。生徒はたくさん思い出と、感謝の気持ち、俵山地区の誇りを胸に旅立ちます。

地域とともに歩んだ69年

昭和22年創立の俵山中学校。昭和36年には過去最多の318人が在籍していましたが、最終年度には25人まで減少しました。同校では、地域の伝統文化である俵山女歌舞伎を学ぼうと、平成17年から「子ども歌舞伎」に取り組み、毎年開催される俵山温泉祭や地区民俗文化産業祭で発表を続けてきたほか、今年度は全国中学校総合文化祭東京大会で歌舞伎を披露しました。また、敷地内にある広大な農園を活用し、生徒は野菜の定植から収穫まで農業を体験。農園活動は俵山小学校や幼稚園の子どもたちと合同で行うこともあり、収穫感謝祭では地域の人も一緒に収穫を喜び合いました。春には地区の観光名所「シャクナゲ園」で特産品の販売や花殻摘みなどのボランティアに参加、秋には地区合同体育祭を盛り上げ、地域とともに多くの思い出を積み重ねてきました。

統合は新たな歴史の始まり
平成28年4月からは、深川中学校に学び舎を移し、新たなスタートを切る生徒たち。閉校にあたり掲げられた「ここから始まる俵山中の挑戦、感謝と誇り・地域とともに」のスローガンを胸に、旅立ちます。



最後の卒業証書授与式（3月10日）

創立からこれまでの軌跡

昭和22年	学制改革により俵山村立俵山中学校創立	61年	校舎外壁全面改修
23年	生徒数152人(5学級) 第1校舎・第2校舎 竣工、独立校舎に	5年	生徒数97人(4学級) 保健室・教育相談室・図書室を改修、体育倉庫を新設
29年	市制施行、長門市立俵山中学校と改称	6年	コンピュータ教室を新設
32年	校旗制定、制服制定	9年	俵山中学校開校50周年記念式典
33年	校歌制定	14年	山口県学校環境緑化コンクール最優秀学校賞受賞(以降27年まで連続受賞)
36年	新校舎・運動場竣工 生徒数318人(7学級)	18年	国民文化祭で歌舞伎「五人三番叟」披露
41年	水泳プール竣工	28年	閉校 (閉校誌から抜粋)
53年	屋内運動場竣工		
56年	テニスコート新設		
60年	運動場斜面に桜苗木50本植樹		



現在の校舎



旧校舎



第1期卒業生(昭和22年度)